

# ちばる地域提案事業のご報告

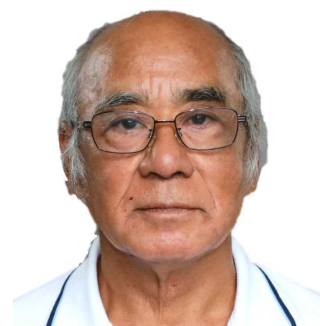


転落防止用のフェンスが設置された天洋森

## 稲嶺区

かつては養鶏が盛んで、養鶏集落として有名だったが、今では大規模な養鶏場とマンゴアの栽培が区の主要産業となっている。人口250人程度と、羽地地区のなかでも比較的人口の少ない、小さな集落である。

公民館に隣接する「天洋森」は、戦前から子ども達の遊び場として利用されていたが、近年は整備されない状態が続き、雑草や木々が繁茂していた。



平良 和己 区長

事業名	公民館に隣接する天洋森の整備
事業実施の理由	公民館に隣接する天洋森を整備することで、区民の散策路や子ども達の自然学習の場として活用できるようにしたい。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○天洋森の一部周辺に転落防止用のフェンス設置</li> <li>○繁茂した木々の剪定、草刈りなどの整備作業</li> <li>○花や果樹木の植栽</li> <li>○ツリーハウスの設置</li> <li>など</li> </ul>



## 平良和己区長のお話

戦前は、今の公民館の向かいに尋常高等小学校があったこともあり、子ども達をはじめとした区民の憩いの場として利用されてきた天洋森ですが、20年以上整備されず、木々が生い茂り荒れ放題となっていました。木々の伐採や散策路の整備をし、様々な種類の花木を植栽することで、季節ごとに違う花を見ることができる、『区民が楽しめる森』にしようと事業を実施しました。



整備された天洋森の登り口

森を整備したことで、近隣の真喜屋小学校の生徒たちの自然学習に利用されたり、高齢者の方たちも森に入り、子どもの頃に遊んでいた当時のことを思い出し懐かしむなど、多くの人に楽しんでもらっています。

まだまだ整備が必要なところはたくさんありますし、整備を行えば行うほど、また新たな課題が出てきます。これからも整備を続けていく必要があり、『終わりのない事業』だと思っています。区長が中心となって区民でこまめに管理することで、負担をかけずに継続して整備することができると思うので、頑張っていきたいです。

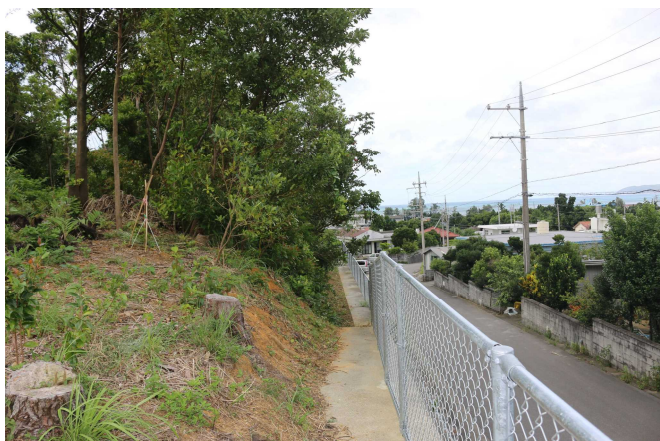


子どもたちが遊べるよう  
ツリーハウスを設置



ツリーハウスからの眺め





天洋森内部や周辺も散策できるように整備



季節ごとに楽しめるように様々な花木を植栽



真喜屋小学校児童たちの自然学習の様子